

2024年徳島北ドッグスポーツTRクラブ訓練競技会

開催日 2024年11月10日(日) (雨天決行)

受付時間 AM 7:00~8:00
競技時間 AM 8:00~ (開始予定)

※受付時間及び競技開始時間にご注意ください。

※審査、出場順は、出陳目録記載番号順を原則とします。
また、発情犬は、各クラスの最後に競技していただきますので、受付時に申告してください。

本競技会でのお弁当の配布はございません。予めご了承下さい。

訓練競技会審査員長
羽鳥 文人

【競技科目一覧】

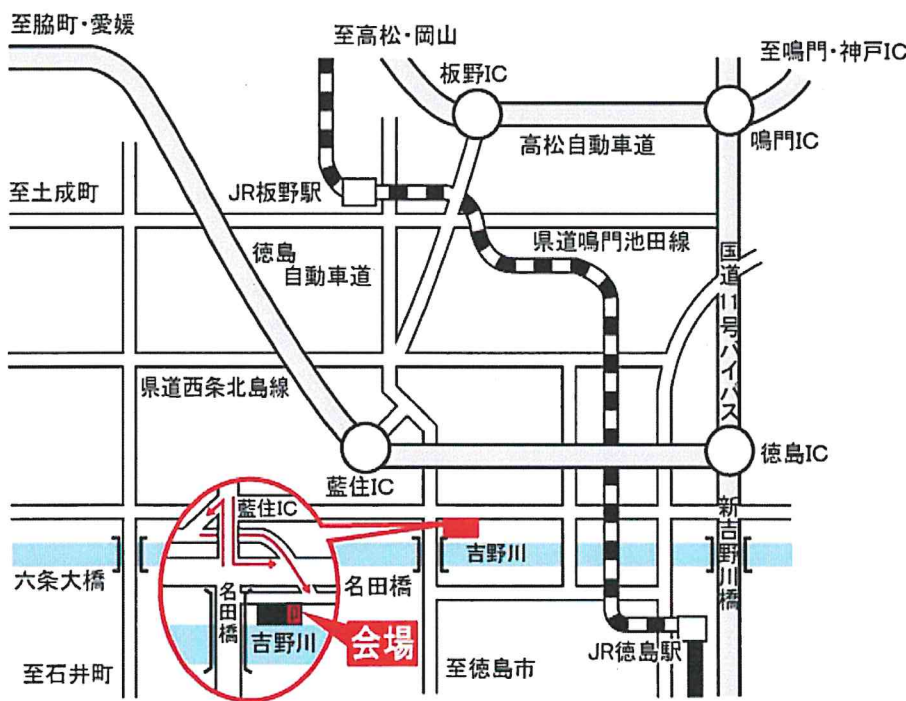
■アマチュア指導手の部

- 第1部 家庭犬準初等科(CD I S)
- 第2部 家庭犬初等科(CD I)
- 第3部 家庭犬中等科(CD II)
- 第4部 家庭犬準高等科(CD III S)
- 第5部 家庭犬高等科(CD III)
- 第6部 服従スペシャル

■一般の部

- 第7部 家庭犬準初等科(CD I S)
- 第8部 家庭犬初等科(CD I)
- 第9部 家庭犬中等科(CD II)
- 第10部 家庭犬準高等科(CD III S)
- 第11部 家庭犬高等科(CD III)
- 第12部 服従スペシャル
- 第13部 特別犬の部
- 第14部 臭気選別自臭の部
- 第15部 臭気選別他臭の部
- 第16部 オビディエンスビギナー1
- 第17部 オビディエンスビギナー2
- 第18部 オビディエンス I
- 第19部 オビディエンス II
- 第20部 オビディエンス III
- 第21部 ラリーオビディエンス クラス 1
- 第22部 ラリーオビディエンス クラス 2

会場 徳島県藍住町吉野川北岸名田橋下公園



- 徳島自動車道をご利用の方は藍住インターで降りて、右折し名田橋手前を左折。
- 高松自動車道・神戸淡路鳴門自動車道をご利用の方は板野インター料金所を出て、バイパスを直進し名田橋手前を左折。

申込開始 2024年10月07日(月)
申込締切 2024年10月21日(月)郵送必着
※当日及びファックスでの申し込みは受け付けません。

アトラクションとして
ラリーオビディエンス
ビギナークラス (10~12パネル)
ビギナークラス(学生の部) (10~12パネル)

競技会申込所

〒779-0102 徳島県板野郡板野町川端字富ノ谷口34-1
新田 紘子 方 TEL 088-672-3267

後援 ● 一般社団法人ジャパンケネルクラブ ● 四国ブロック訓練士協議会

1. 出陳規定

- (1) 本会会員が所有する、生後 9 カ月 1 日以上 (2024 年 2 月 09 日及びそれ以前生まれ) の本会登録犬 (アペンディクス登録犬含む) に限ります。
- (2) 本会会員所有の非公認犬種、非公認団体登録犬、交雑犬、生後 9 カ月 1 日以上であれば、家庭犬準初等科、特別犬の部・オビディエンスビギナー I~II、ラリーオビディエンスクラス、アトラクションに限り出陳できます。ただし、訓練チャンピオン資格犬にはなりませんので、トレーニングチャンピオン (T. CH) ポイントカードは付与されません。
- (3) 同一犬の重複出陳については、以下の通りとなります。
 - ① 家庭犬準初等科・初等科・中等科・準高等科・高等科は、連続する 2 つのクラスまで出陳できます。
※例えば、中等科と準高等科では同時出陳できますが、中等科と高等科では同時出陳することはできません。
 - ② 家庭犬準初等科、初等科、中等科、準高等科、高等科のうち 1 つのクラスと、臭気選別の部、オビディエンスビギナー I~オビディエンスIIIのいずれか 1 つのクラスに出陳できます。
 - ③ 臭気選別の部と、服従スペシャルのうち 1 つのクラスに出陳できます。
 - ④ 家庭犬中等科、準高等科、高等科、服従スペシャル及び臭気選別の部のいずれか 1 つのクラスとオビディエンス I~IIIのいずれか 1 つのクラスは出陳できます。
 - ⑤ 服従スペシャルの出陳犬は、中等科、準高等科、高等科、オビディエンスビギナー I~オビディエンスIIIのいずれか 1 つのクラスに出陳できます。
 - ⑥ ラリーオビディエンスクラス 1.2 と特別犬の部を除く全てのクラスのうち 1 つのクラス。ただし、ラリーオビディエンスクラス 1.2 に出陳する非公認犬種、非公認団体登録犬、交雑犬、準初等科、特別犬の部・オビディエンスビギナー I~IIのいずれか 1 つのクラスに出陳できます。
 - ⑦ アトラクションクラスのうち 2 つのクラス又はアトラクションのクラスのうち 1 つのクラスと全てのクラスのうち 1 つのクラスに出陳できます。
 - ⑧ 同一犬が、複数のトレーニングチャンピオン (T. CH) ポイントカード及びメジャー・トレーニングチャンピオン (M. T. CH) ポイントカードを取得した場合、1 クラスのみ有効とします。家庭犬とオビディエンスで重複した場合も同様に 1 クラスのみ有効とします。有効とするポイントは出陳の方が選択してください。
- (4) 伝染病・皮膚病など健康上の危惧のある犬、並びに咬癖犬・妊娠犬の出場はご遠慮ください。また、発情犬は専用リングにて、各クラス終了後に審査します。
- (5) 本競技大会規定ならびに実施要領は別記の通りですが、都合で一部変更する場合があります。
- (7) オビディエンス及びラリーオビディエンスの実施要領に関しましては、別紙、又は (ノイマンドッグスクール HP) を参照してください。
- (8) 会場内における事故の責任は、一切所有者といたします。
 - ① 駐車場でのご事故及びトラブル。
 - ② 出陳犬等の怪我及びトラブル。

2. 申込方法

- (1) 競技大会出陳申込
所定の出陳申込書に必要事項を記入し、出陳料 1 頭 1 クラスにつき 7,000 円、アトラクション 1 頭 1 クラスにつき 3,000 円を添え、締切日までに事務局必着 (消印無効) となるようにお申ください。

《出陳料・受験料の送金方法について》

出陳料・受験料は現金書留又は振込 (別紙案内) にてご送金ください。

3. 審査規定

- (1) 審査は、本会公認審査員により厳正公平に採点いたします。
- (2) 競技課目は「訓練試験課目・訓練競技課目に関する規程」により行います。
- (3) 総合得点が同点の場合は、規定課目の得点の高いものを上位とします。
規定課目の得点も同点の場合は、担当審査員が判定します。
- (4) 審査の結果に対して異議の申し立ては一切許されません。
- (5) 各部共、全ての課目は脚側停座に始まり、脚側停座で終わります。
これが守られない場合は、減点の対象になります。
- (6) 過度の逸走は、1 回でも競技中止とする場合があります。

4. 指導手規定

本競技大会出場犬の指導手参加資格は、本会のクラブ会員並びにその家族とし、次の通りとします。

A. アマチュア指導手の部について

- ① 出陳犬所有者本人、またはその家族 (同居の血縁者) の方に限ります。
※本会の公認訓練士並びにその助手、及びこれに準じる者 (訓練を業とした経歴を持つ者) は、アマチュア指導手の部には出場できません。
その認定は中央訓練委員会で行います。

B. 一般指導手の部について

- ① 出陳犬所有者本人、またはその家族 (同居の血縁者) の方。
- ② 本会の公認訓練士並びにその助手、及びこれに準じる者 (訓練を業とした経歴を持つ者)。
- ③ 自己所有犬以外の犬を指導する方。

5. 競技クラス

■アマチュア指導手の部

第 1 部 家庭犬準初等科 (CD I S) 50 点 5 課目中規定 2 課目 (必須)

① 紐付脚側行進 (往復常歩) ② 紐付立止

ア. 紐付伏臥、イ. 紐付行進並びに伏臥、ウ. 紐付行進並びに停座、エ. 紐付行進並びに立止、オ. 紐付障害飛越 (片道)、カ. 紐付据座、キ. 紐付休止、ク. 紐付お手・おかわり、ケ. 紐付チンチン、コ. 紐付くわえて歩く、サ. 紐付寝ろ、シ. 紐付吠えろ、ス. 紐付だっこ 上記 13 課目のうちから選択 3 課目

第 2 部 家庭犬初等科 (CD I) 50 点 規定 5 課目 (必須)

① 紐付脚側行進 (往復常歩) ② 紐無し脚側行進 (往復常歩) ③ 停座及び招呼 ④ 伏臥 ⑤ 立止 (紐無し)

第 3 部 家庭犬中等科 (CD II) 100 点 10 課目中規定 7 課目 (必須)

① 紐付脚側行進 (往路は常歩・復路は速歩) ② 紐無し脚側行進 (往路は常歩・復路は速歩) ③ 停座及び招呼 ④ 伏臥 ⑤ 立止 (紐無し) ⑥ 常歩行進中の伏臥 ⑦ 常歩行進中の停座 他自由選択 3 課目

第 4 部 家庭犬準高等科 (CD III S) 150 点 15 課目中規定 10 課目 (必須)

①~⑦までは第 3 部と同じ課目。

⑧ 常歩行進中の立止 ⑨ 障害飛越 (片道) ⑩ 休止 他自由選択 5 課目

第 5 部 家庭犬高等科 (CD III) 200 点 20 課目中規定 14 課目 (必須)

①~⑦までは第 3 部と同じ課目。

⑧ 常歩行進中の立止 ⑨ 物品持来 ⑩ 遠隔・停座から伏臥 ⑪ 障害飛越 (片道) ⑫ 障害飛越 (往復) ⑬ 据座 ⑭ 休止 他自由選択 6 課目

第 6 部 服従スペシャル 100 点 規定 10 課目

① 紐無し脚側行進 (往路常歩、復路速歩) ② 立止 (紐無し) ③ 停座及び招呼 ④ 常歩行進中の伏臥及び招呼 ⑤ 常歩行進中の立止及び招呼 ⑥ 物品持来 ⑦ 遠隔・伏臥から停座 ⑧ 遠隔・立止から伏臥 ⑨ 速歩行進中の伏臥 ⑩ 速歩行進中の停座

■一般の部

第 7 部 家庭犬準初等科 (CD I S) 50 点 5 課目中規定 2 課目 (必須)

第 1 部 家庭犬準初等科と同じ。

第 8 部 家庭犬初等科 (CD I) 50 点 規定 5 課目 (必須)

第 2 部 家庭犬初等科と同じ。

第 9 部 家庭犬中等科 (CD II) 100 点 10 課目中規定 7 課目 (必須)

第 3 部 家庭犬中等科と同じ。

第 10 部 家庭犬準高等科 (CD III S) 150 点 15 課目中規定 10 課目 (必須)

第 4 部 家庭犬準高等科と同じ。

第 11 部 家庭犬高等科 (CD III) 200 点 20 課目中規定 14 課目 (必須)

第 5 部 家庭犬高等科と同じ。

第 12 部 服従スペシャル 100 点 規定 10 課目

第 6 部 服従スペシャルと同じ。

第 13 部 特別犬の部 100 点 10 課目中規定 7 課目 (必須)

第 9 部 家庭犬中等科と同じ。

第 14 部 臭気選別自臭の部(図 1 参照)

第 15 部 臭気選別他臭の部(図 1 参照)

● 10m 前方の選別台にある 5 個の布片の中から、1 個の本臭物品(自臭: 指導手臭、他臭: 他人臭)を持来する。

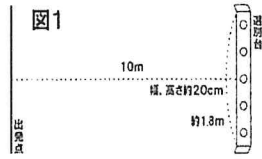
● 1 頭の犬が連続 4 回実施する。

4 回成功した犬を CH グループとし 2 次作業を行う。

● 物品を台上に配置するときは、人犬共に後ろ向きになる。

● 作業時間は、本臭いを嗅がせ始めてから 1 分以内とする。

● 決勝のための 2 次作業以降は、ビニール、箸、紙等を手元の匂いとして使用することがあり、犬の前後動作も採点する。



第 16 部 オビディエンスビギナー I

第 17 部 オビディエンスビギナー 2

第 18 部 オビディエンス I

第 19 部 オビディエンス II

第 20 部 オビディエンス III

第 21 部 ラリーオビディエンス クラス 1 (13~16 パネル)

第 21 部 ラリーオビディエンス クラス 2 (16~18 パネル)

アトラクションとして

ラリーオビディエンスビギナークラス (10~12 パネル)

ラリーオビディエンスビギナークラス(学生の部) (10~12 パネル)

6. 注意事項

(1) 審査に関するご注意

① 作業中とは入場から退場までをいい、作業中としての審査は、課目と課目の間も対象になります。

② 犬の首輪は、バンドナ、チェーン、カラーなどを含めて、一つだけの装着とします。

③ 指導手はボシセット類の装着はできません。

④ ラッピングされた状態での出陣は認められません。また、ラッピングの箇所や数については制限いたしません。

(2) 各課目に共通したご注意

① 規定課目を行う場合は、各動作を 1 声符のみで完全に行われた場合を満点とし、視符を使った場合は最小単位の減点があります。(前進、障害を除く。)

② 作業中、逸走した場合、その課目は 0 点となります。呼び出してすぐ戻ったものは次の課目に進めます。2 回逸走した場合は以降の作業は中止となります。なお、過度の逸走は、1 回でも作業中止となることがあります。

③ 指導手がボール、えさ等を持って作業した場合は失格となります。

④ 作業中の糞尿は大きな減点となります。

⑤ 審査員の指示で命令をしななければならない時に、指示前に命令した場合は減点となります。

⑥ 作業中に不自然な、または余分な声視符、並びに誘導的動作を行った場合は減点の対象となります。

⑦ 指導手の命令前に犬が動作をした場合は、減点となります。

⑧ 作業中、犬の首輪を持った場合は減点となります。

(選別作業は除く。)

⑨ 作業中の犬に対する体罰は許されず、失格もありえます。

⑩ 各課目の最後の脚側停座は、「アトエ」または「スワレ」の 1 声符のみで完全に行われた場合のみ満点となります。それ以上の声視符は使用毎に最小単位の減点があります。

⑪ 対面して行う作業は、必ず犬を一旦停止させ、審査員の指示により、犬を呼び脚側停座で終わります。

(実施要領に特定の記載のある課目は除く。)

⑫ 指導手が課目や実施要領を間違えた場合は、減点の対象となります。ただし、課目の作業前に審査員に課目順を質問することは許されます。

7. 入賞

(1) 3 部、9 部は審査終了後、審査員長により、特別賞審査が行われます。

(2) 各部各クラス 1 席より 5 席までを入賞とし、ロゼットを付与します。

8. トレーニングチャンピオン(T.CH.)

並びにグラントレーニングチャンピオン(G.T.CH.)登録制度

(1) ① 家庭犬準高等科・高等科・服従スペシャルにおいて 95% 以上の得点を得た犬、臭気選別他臭の部で 4 回中 3 回以上成功した犬、オビディエンス I・II・III で 80% 以上の得点を得た犬にメジャートレーニングチャンピオンポイント(M.T.CH.P)を、5 ポイント交付します。

② 家庭犬中等科において 95% 以上の得点を得た犬にトレーニングチャンピオンポイント(T.CH.P)を、5 ポイント交付します。

③ 家庭犬初等科において 95% 以上の得点を得た犬、臭気選別自臭の部で 4 回全て成功した犬、オビディエンスビギナー I で 80% 以上の得点を得た犬にはトレーニングチャンピオンポイント(T.CH.P)を、1 P 交付します。

④ オビディエンスビギナー 2 において 80% 以上の得点を得た犬にはトレーニングチャンピオンポイント(T.CH.P)を、2 P 交付します。

(2) 同一犬が、複数の T.CH. ポイントを取得した場合、1 クラスのみ有効とします。

(3) トレーニングチャンピオン(T.CH.) 資格の取得と登録

① トレーニングチャンピオンポイント(T.CH.P.) を 20 ポイント以上取得した犬に与えられます。ただし、取得した 20 ポイントのうち 2 枚以上は 5 ポイント以上の T.CH. ポイントでなければなりません。

② 訓練試験資格の受験と登録が必要になります。(CD I 及び II、GD I、IGPI、BH のいずれか)。

③ DNA 登録がされていなければなりません。

(4) グラントレーニングチャンピオン(G、T、CH) 資格の取得と登録

① G.T.CH. の資格条件は、T.CH.P を 60 ポイント以上有する犬に与えられます。ただし、メジャーポイントを 1 枚以上取得していることと、T.CH. の登録を期限内に申請していることが条件となります。

② 仮に 24 ポイントで、トレーニングチャンピオン登録を行った場合、残り 36 ポイントでグラントレーニングチャンピオンの資格条件が与えられます。

オビディエンスビギナー I・ビギナー II 競技課目の実施要領



オビディエンス I・II・III の実施要項、



イベント情報



ラリーオビディエンス I・IIについて

◆出陳犬について

出陳犬は、クラブ会員が所有する生後9カ月1日以上の本会登録犬（アペンディクス登録犬を含む）並びに非公認犬種、非公認団体登録犬、交雑犬とします。

◆カテゴリーについて

出陳犬の体高により、次の2つのカテゴリーに分割して競技を行います。

- ①スモール・ミディアム・・・体高43cm未満の犬
- ②ラージ・・・体高43cm以上の犬

◆指導手について

指導手は、本会のクラブ会員並びにその家族とします。

◆実施要領

(基本規程)

- ①指導手は、競技前にステーションの番号とパネルに書いてある服従の課題課目を順に覚えます。
- ②指導手は犬を脚側につけ、番号順にパネルの左側または、パネルの前で犬とコミュニケーションをとりながら課目をこなします。
- ③コミュニケーションをとるため、競技中に課題が出来たことに対して犬を褒める、励ます言葉は許されます。ただし、体罰や厳しい指示（言い方）は禁止となります。
- ④指導手は、紐付きで行うか、紐なしで行うかを決めることができます。
- ⑤コースの途中におやつをあげても良い箇所、少し触っても構わない箇所が1～3箇所あります。ただし、ニコニコマークのあるパネル、及びゴール後とします。
- ⑥おやつは、ずっと手に持ったままでなく指導手の左右どちらかのポケット（ポーチ・エプロン等は禁止とする）に入れることとします。ただし、トレーニングベストは可とする。
- ⑦おやつは、その都度ポケットから取り出し、左右どちらかの手を使って与えることとします。なお、指導手は自身の口におやつを含むことは不可とします。
- ⑧指示は、声符・視符・体符同時であれば使用できます。
- ⑨競技中、犬に触れてはならないが、偶然当たることは許されます。
- ⑩指導手は、腕や手の振りは構わないが、犬を自然に扱うこととする。不自然な動きは、審査員から注意が与えられます。2回目の注意で失格となります。
- ⑪紐の持ち方は、片手でも両手でもよいこととします。
- ⑫紐を競技中に持ち変えることができます。
- ⑬リング内には、犬を紐付きで出入りします。
- ⑭紐なしで競技を行う際には、リードを肩（左右どちらでも良い）にかけるか、ポケットに入れます。

<ラリーオビディエンスII出陳について>

※これまでの訓練競技会におけるラリーオビディエンス Iを時間制限以内で1回最低90点以上又は最低70点以上3回取得していること。

(参加条件)

- ①障害のある犬でも、体調が良ければ参加可能です。
- ②指導手に障害がある場合でも、参加可能です。ただし、障害の状態を申告しなければなりません。車イス（手動・自動）、杖等で参加できます。
- ③妊娠犬、病気がケガ、目で見える犬の病気（下痢、嘔吐、足をひきずっている等）の時は、参加できません。
- ④発情犬は、最後の出陳となります。
- ⑤他の犬や、人の安全を脅かす攻撃的な犬は、参加できません。
- ⑥出陳犬のスパイク、口輪、胴輪、服は禁止となります。
- ⑦チョークチェーンは締まらないようにしてください。
- ⑧金属のリードや、伸びるリードは禁止となります。

(コース)

- ①コースは、担当審査員が設計します。
 - ②ラリーオビディエンス Iのパネルの数は、13～16個の他、スタートパネルとゴールパネルを使用します。パネルは、次項(1)～(6)の中から選ばれます。(QRコード参照)
 - ③ラリーオビディエンス IIのパネルの数は、16～18個の他、スタートパネルとゴールパネルを使用します。パネルは、次項(1)～(6)の中から選ばれます。(QRコード参照)
- ※ラリーオビディエンス IIにおいて追加されたパネルは(2)～(6)になります。

(コース検分)

- ①競技開始前に、コースが設置されたリング内に指導手のみを入れて、検分を行います。
- ②検分時間は10分以内とします。
- ③検分中に指導手が分からない時は、審査員に質問ができます。
- ④障害のある指導手及び18歳未満の指導手は、ヘルパーと一緒に検分ができます。
- ⑤競技者が20名以上の場合、検分を分ける場合があります。
- ⑥複数の犬を出陳する指導手の検分は、1回とします。

(スタート)

- ①審査員の指示で、指導手は常歩でスタートをし、指導手の判断で最後まで行います。
- ②審査員のスタート指示後、15秒以内にスタートラインを越えないと失格となります。
- ③指導手の足、または犬の前足どちらか早い方の足がスタートラインを越えた時から、タイムが計測されます。スタートする前は、停座、伏臥、立止のいずれかとします。

(ゴール)

- ①指導手の足、または犬の後足どちらか遅い方の足がゴールラインを越えると、ゴールとなります。
- ②ゴールを越してタイムが止まった後は、よく褒めてください。
- ③競技が終わったら、速やかにリンクを出ることとします。

(リミットタイム)

- ①リミットタイムは、原則として4分となります。
- ②障害のある指導手は、障害の程度等によりハンディをつけることができる。ただし、審査員は他の競技者に対して著しく有利になるハンディを与えてはならない。
- ③18歳未満の指導手のリミットタイムは5分となります。
- ④審査員はコースの距離等により、リミットタイムを加算することができます。
- ⑤リミットタイムを越えた場合は、失格となります。

◆重複出陳

- ①ラリーオビディエンス I及びラリーオビディエンス IIに出陳する本会登録犬（アペンディクス登録犬を含む）は、特別犬の部を除く、全ての部のうちから1つのクラスに重複出陳することができます。
- ②ラリーオビディエンス I及びラリーオビディエンス IIに出陳する非公認犬種、非公認団体登録犬、交雑犬は、準初等科・特別犬の部・オビディエンスビギナー I・オビディエンスビギナー IIのうちから1つのクラスに重複出陳することができます。

ラリーオビディエンス実施要領



※読み取れない場合は本会 HP をご参照ください。